

## 早稲田大学 第一文学部 英語 講評

### 〔総合分析〕

出題形式	マーク式・記述式併用
試験時間	90分
特徴・その他	以前よりは、複雑な文、難しい単語は少なくなった。 読む部分が多いので、速読に自信の無い人は、時間配分に注意が必要。例年のことだが、1問目は全体を読まなくても解ける。

### 〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
〔 〕	長文内容一致問題 (将来に対する自分と祖父との葛藤)	比較的読み易い文章が続く。設問が文の順序なので、キーワードを見つければ、全体を読まなくても解ける。	やや易
〔 〕	長文空所補充問題 整序問題 (民族とその定義)	前後の文中にあるヒントとなる部分を見つけられるかがポイント。	標準
〔 〕	長文空所補充問題 (砂丘の旅)	文法的要素が強い。大問で文法問題が無いのはそのため。品詞、文構造を勉強していれば易。	標準
〔 〕	会話文空所補充問題 (夏休みの計画)	形式は4択だが、実質的には2択くらいに感じられることが望ましい内容。	やや易

### 〔総合コメント〕

勉強不足、片寄った勉強をしている受験生には量が多く、難しいと感じられるかもしれないが、以前よりも得点をさせてあげようという出題意図が見える。つまり、暗記力よりも思考力を問われるので、総合的な勉強が必要。

更に時間配分などの受験のテクニックも身につけておきたい。